

# 令和2年度デイパーク大府事業活動報告

新型コロナウイルス感染拡大が始まり、不安の中の一年がすぎました。

新しい生活様式の啓発、皆様への制限や自粛のおねがい、面会・外出制限や、職員の行動規制、リモート面会の推進、利用者・職員のPCR検査、感染予防対策を徹底しながら運営継続し、幸いにも一人の感染者が出る事もなく、厳しい状況の中でも、「和」を大切に長福会本来の力が発揮できました。

公益性の発揮、質の高い福祉サービスを継続して提供し、安心して利用できる「地域」重視の運営体制や人材の育成、「地域の皆様に愛され、頼られるデイパーク大府」を継続して取り組んだ一年でありました。

## 法人全体

### ① 施設及び体制整備

- ・館内空調・換気設備を追加更新し、抗菌洗浄、三蜜の回避行い感染拡大防止対策を重視した整備行いました。
- ・安全衛生・感染予防対策委員会（46回開催）で、感染予防啓発を促し、まん延予防に努めました。
- ・現在7名の障がい者の方が職員として勤務し、障がい者雇用率（5.7%）充足を達成したため、令和3年度も引き続き奨励金の受給法人となります。
- ・利用者支援
- ・毎月の行事食を目当てに追加利用される方も定着し、食事提供改善に取り組んでいます。
- ・機器を導入し、飛沫対策を徹底し、音楽リハビリを実施してきました。
- ・面会についてはリモート面会を（緊急事態宣言下除く）積極的に活用しました。
- ・年間100回程度の買い物支援、移動販売等で買い物を楽しんでいただきました。

### ② 地域貢献

- ・地域の方を交え法人全体で防災訓練を実施しました。
- ・障がい者就職トレーニングセンターと連携し、職場相談支援行いました。
- ・市の委託事業とは別に独自契約の配食サービスにおいて、10名、延べ200食以上の方に夕食の宅配と合わせ安否確認を実施しています。
- ・感染予防対策徹底し、会議室を地域自治会や子供会の会議等にご利用いただいております。

## 2) 特別養護老人ホーム 利用定員 80名

新規入居者数 23名 退居者数 19名  
稼働率 93.3% (前年度稼働率 95.9%)

令和2年度退居者数は19名、例年より若干すくない方の退居でした。そのうち9割の方を当施設で看取らせて頂きました。

新規入居者様23名、コロナ感染対策を取り入居に関してはかなり慎重に緊急事態宣言が開

けて6月から実施していきました。4月空室状態からのスタートで5月には85%を切る稼働率に落ち込みました。7月からは90%を超える稼働率に回復しましたが、結果、平均すると93.3%となり前年度の稼働率を2.6%減となりました。

介護保険制度改正に伴い特定処遇改善加算、食費居住費の改定等ありましたが年間収支約80万減となりました。令和3年度も介護保険改正で加算の変更があり、収入増加は厳しくなると予測されます。感染対策をとりながらも安全にスピーディに新規入居を勧めていく必要があると考えます。

入院者数年間16名、救急搬送6件、昨年度より入院日数は減少しており、医療機関との連携を速やかに行い退院することができました。病院や施設でのコロナまん延により、現在もご本人の状態は安定しているのに、感染対策の為退院できないケースも出てきています。

入居者様の状態把握に努めなるべく嘱託医での治療で施設の生活ができるように多職種連携していきます。

感染対策の為にご家族との面会もできない時期が続き、ウェブでの面会を実施してきました。しかし、入居者様の楽しみは半減しているのは現実です。個別ケアを目標に寿司の出前やユニット内での体操や個別でのリハビリ等、写真をアルバム風に職員が加工しご家族様に郵送し大変喜ばれました、色々工夫しながらの1年でした。

ご家族も入居者様も寂しい思いをしながらですが、職員一同今後も少しでも心が潤うようなことを継続して考えていきます。

看護師が中心になり感染の可能性があった場合のゾーニング、居室でのケアの方法等感染対策をシュミレーションし動画におこし職員がいつでも実施できるように準備し練習をユニットで行っています。

3階の共同トイレと居室のリノベーションを実施しました。より掃除がしやすく清潔が保てるようになりました。共有の物はより清潔に使用できるように致します。

### 3) 短期入所生活介護事業所 利用定員30名

短期入所事業所 定員30名

稼働率85.6% 年間9371名 (前年稼働率80.7% 年間8846名)

<稼働率について>

一昨年度は近隣の大規模介護施設の開所により稼働率が大幅に減少いたしました。昨年度は新型コロナウイルスの影響があり、感染予防対策に力を入れながら事業を行って参りました。

新規のご利用者様の受け入れに関してコンスタントに受け入れができました。しかし当初からの目標稼働率90%には至りませんでしたので今年度は目標稼働率を達成できる様に努力致します。

## 稼働率及び新型コロナウイルスの感染状況

令和2年4月	令和2年5月	令和2年6月	令和2年7月	令和2年8月	令和2年9月
<b>88.2%</b>	<b>85.8%</b>	<b>84.5%</b>	<b>80.7%</b>	<b>86.9%</b>	<b>92.8%</b>
7都道府県に緊急事態宣言	全国に拡大傾向 月末全国で解除	数値的には一度 落ち着く	徐々に全国で拡大傾向	感染者数横ばい	感染者数横ばい
令和2年10月	令和2年11月	令和2年12月	令和3年1月	令和3年2月	令和3年3月
<b>85.8%</b>	<b>92.1%</b>	<b>82.6%</b>	<b>80.9%</b>	<b>84.2%</b>	<b>82.7%</b>
感染者横ばい	感染者が増え始める	全国に感染者拡大傾向	1都3県に緊急事態宣言	6府県で解除	1都3県も解除

### <課題・分析>

年度初め、第1次新型コロナウイルスが拡大傾向にあり、かなり不安視した中での援助を行って参りました。その為かなり消極的な受け入れ状況になってしまった感は否めません。感染予防対策、(例えばご利用様の入所前の検温、テーブル上にクリアボードの設置(当初は手作り)、職員の就業前検温、マスク着用の徹底、アルコール消毒の実施等行い、状況を見ながら事業継続しました。

もし1人でも職員かご利用者様又はご家族様に感染者が出た場合は事業停止を視野に入れながらの援助を行って参りました。そういった感染予防を踏まえた日程の調整もさることながら、稼働率が下がる月に関しての一番の要因は施設入所待ちのショートロングのご利用者が体調不良で入院後、施設入所され、その空床が埋まらない状況が続いた場合に減少する為、今年度はその部分に重点を置き、昨年中旬以降生活相談員2名体制になった為、日程調整に力を入れ稼働率の維持に努めて参ります。

引き続きケアマネージャーや病院のソーシャルワーカーと連携を図り、日程調整を致します。

今後も稼働率が維持できるように情報の収集や連絡を密に取り、稼働率90%を目指します。令和3年4月より3年に1度の介護保険改正によって短期入所の事業所としては基本単価が上がります。新たな加算の追加・変更により単位数が増えますので増収が見込まれますがそれに頼らず、稼働率アップに努めてまいりたいと思います。

### <昨年度新たな取り組みについて>

昨年度は開設当時から大事に使用してきた、居室内カーテンの入替工事を行い“室内が大変に明るくなった”とご利用者様に好評でした。又、それは抗菌カーテンで新型コロナウイルスに対しても有効なカーテンを入荷したことから同時に感染予防対策も兼ねております。

新型コロナウイルスの影響から、事業所をまたいで交流も持たず夏祭り等の行事も行いませんでしたので、事業所内で工夫し、機能訓練や催し物も行い、施設でお泊り頂いている間の健康の維持やできる限り退屈しないように工夫して援助を行って参りました。

### <感染予防について>

職員のご家族に濃厚接触者が出ましたが、職員は陰性で事なきを得た状況もございました。新型コロナウイルス等、感染予防対策にも引き続き努めてまいります。

#### 4) 第1デイサービス 利用定員 30名

延べ利用者数名 7,851名 (前年7,889名)

稼働率 83,8% (前年 84,3%)

昨年度は、新型コロナウイルスの影響が大きく、稼働率が減少致しました。  
6月・7月・8月までは稼働率88台～90%台と上昇し後半、9月より利用者様が利用を控え体調不良により入院、ショートステイ利用・施設入所され稼働率が減少しました。

新規利用者を受け入れるが、実績を戻しきるには至らなかった

	稼働日数	延べ人数	人員数	平均利用者数	稼働率
4月	26日	676	72	26,0	86,7%
5月	26日	661	69	25,4	84,7%
6月	26日	710	71	27,3	91,0%
7月	27日	718	73	26,6	88,6%
8月	26日	693	72	26,7	88,8%
9月	26日	666	69	25,6	85,4%
10月	26日	630	66	24,2	80,8%
11月	26日	647	65	24,9	82,9%
12月	27日	646	65	23,9	79,8%
1月	25日	580	62	23,2	77,3%
2月	24日	579	60	24,1	80,4%
3月	27日	645	59	23,9	79,6%
					83,8%

#### 《課題・分析》

昨年度の後半より利用者人員が入院・施設入所などで徐々に減っている状況に対し新規獲得できず、新規獲得のアピールの弱さが稼働率の維持が難しかった原因です。

新型コロナウイルス感染拡大により法人行事・イベントなど中止になりましたが、デイサービスでのレク行事などは感染予防に徹底しあらゆる可能性を排除せず、実施状況を写真・動画など活用し、稼働率向上に努めたいと思います。利用者・家族・ケアマネジャー、更に地域から信頼され支持される事業所を目指します。

#### 《感染予防対策》

新型コロナウイルス予防対策を引き続き徹底し取り組み介護サービスの提供に努めます。

#### 《サービスの充実・職員の資質向上》

外部研修・eラーニングにて法人研修に参加できました。今後もフロア会議等で技術面でも研修を行っていきたいと思います。利用者・家族・家族間での情報

共有・信頼関係を構築に努めます。

## 5) 第2デイサービス 利用定員 30名

延べ利用者数名 7,674名 (前年 8,169名)

稼働率 82.2% (前年 87.6%)

### 通所介護事業所 第2デイサービス 利用定員 30名

昨年度は、新型コロナウイルスの影響もあり前年度に比べ稼働率4.6%減少致しました。6月・7月は新規利用者の獲得もあり稼働率が一旦上昇したものの、8月に入り、入所される方、利用中止の方、コロナ関連にて利用を控える方などが増え、稼働率9%近く減少となりました。その後、新規利用者が獲得できず、9月以降からは毎月減少傾向となってしまいました。

	稼働日数	延べ人員	実人員	平均利用者数	稼働率
4月	26日	655	63	25,2	84,0%
5月	26日	647	61	24,9	82,9%
6月	26日	695	64	26,7	89,1%
7月	27日	726	66	26,9	89,6%
8月	26日	630	63	24,2	80,8%
9月	26日	676	64	26,0	86,7%
10月	27日	677	63	25,1	83,6%
11月	25日	581	61	23,2	77,5%
12月	27日	635	60	23,5	78,4%
1月	25日	573	61	22,9	79,6%
2月	25日	552	59	22,1	76,7%
3月	26日	627	61	24,1	77,4%
				年間平均稼働率	82,2%

#### 《課題・分析》

昨年度の8月より利用者人員が徐々に減っている状況にも関わらず新規利用者獲得ができず、関連機関への営業努力不足及びPR不足が原因であると考えております。また、新型コロナウイルス感染拡大により行事・イベントなどが中止になり、事業所内での創意工夫も足らなかったと考えております。

今後は、営業の仕方や、コロナ渦だからこそできるアプローチの仕方を考え、実践していけるよう努力し、利用者拡大に全力で努めたいと考えております。

#### 《感染予防対策》

感染症予防対策を徹底し、実際に行えているかの確認も行います。

#### 《サービスの充実・職員の資質向上》

外部研修・e-ライニングにて法人研修に積極的に参加いたしました。今後もケア会議等で多職

種連携を図り、利用者、家族、ケアマネジャーとの情報共有を行いながら、信頼関係構築に努めてまいります。

#### 《活動内容》

活動内容の選択肢を増やす為、ご利用様がどんなことに興味があるか興味関心チェックシート用いて情報収集を行いました。  
クラブ活動を充実させることより各利用者のニーズに応えられるよう支援を行いました。  
個別機能訓練については、身体機能を活用して生活機能向上を図り、利用様が居宅において自立して暮らせることを目的として実施できるように目標設定を行いました。

### 6) ケアハウス 利用定員 30名

ケアハウス 利用定員 30名  
令和2年度 新規入所者 4名 退去者 5名

施設開所から20年以上が過ぎ、開所時からの入居者されている方が1名お見えになります。その他に10年以上の長期の方も多数入居されておりますが、毎年4名前後の方は入退去で入れ替わり、全体的に新鮮な雰囲気の様変わりしております。

長期に利用されている利用者も多く、月日と共に介護認定入居者も増えてきて。薬の管理に注意が必要な人や訪問介護等の利用を受けて、ケアハウスの生活が成り立っているご入居者様も出てきています。

今年も感染予防対策として、従来行っていた陶芸教室、健康体操、絵手紙教室、手芸教室、カラオケ等、集団で実施するレクは軒並み中止となり、代わりに月に2回のコーヒーレクを密にならないよう各居室で飲んで頂き、その他におしる粉レク等も実施して、入居者に召し上がって頂きました。今年度は各々のニーズを探りながら、個別レクに切り替えてご入居者様にとって潤いのある生活を送って頂くための、生きがい支援活動を実施してきました。

月2回の買い物ツアーについて、生きがい支援活動の一環としてだけでなく、感染予防対策のとしての側面からも定期的に実施してきました。食糧品を含めた日用雑貨品等はケアハウスの生活する上で、必要不可欠なものであります。密にならないように配慮して、予防対策を施した、施設の送迎車を定期的にご利用することにより、外部との接触を軽減すること、まとめて購入することを促すことにより、不要不急の外出削減にも一翼を担ってきたと考えております。1回の参加者は7名前後で、入居者の希望を伺いながら、感染予防対策を実施しているお店を選択、外出することにより社会参加活動の他、自粛ムードの中での気分転換も図れると考えております。

訪問歯科医院の協力を受け、希望するご入居者全員に無料による定期歯科検診を実施する

とともに、継続的な治療が必要なご入居者様には居室での歯科診療、義歯調整を行っていただいています。

入居者様の中でご希望者には機能訓練指導員の指導により、定期的な体力測定とトレーニングマシンの活用を促し、アンチエイジングに取り組んできました。

入居者様の生活調査として、定期的に管理栄養士と担当者による入居者様との面談を行い、嗜好、健康、日常生活、食事（献立）などの検討を行って生活向上に貢献しております。

入居者の生活向上の応援として、市内の医療機関や公共施設、共和駅、大府駅等を巡回する無料送迎サービスを引き続き行ってきました。

現在は、コロナウイルスの関係で面会や外出支援も以前のようにはいかず、制限を設けて窮屈な生活を強いられております。少しでも潤いのある生活を持って頂けるよう、定期的に来所される訪問販売に対して、入居者に購入リクエストを伺い業者との間を取り持って、希望の商品が購入できるようにも支援してきました。

## 7) 居宅介護支援事業所

年間延べ利用者数	1 6 6 2名。	(前年度名 1 4 6 1名)
要介護者	1 3 3 2名、	(前年度 1 1 7 6名)
要支援・介護予防ケアマネジメント	3 3 0名	(前年度 2 8 5名)
目標数値の 1 0 5 % (前年度 9 2 %)		

- ・介護支援専門員 4 名を配置し（内、主任介護支援専門員 2 名）特定事業所加算（Ⅱ）の加算取得を維持し、安定したケース受け入れができたため目標数値を超えたと思われま。
- ・地域の困難事例への支援、入退院時の医療との連携など他職種と連携を図り支援しました。包括支援センター等からの依頼、相談ケースを含め年間相談件数は 5 9 件でした。
- ・「大府市主任ケアマネ会」に参加し、他の法人が運営する指定居宅介護支援事業者と共同で大府市内の介護支援専門員の資質向上を目的に事例検討会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染予防のため開催を中止しています。そのため市内の 3 事業所と共同で事例検討会を 3 月に開催いたしました。
- ・地域包括支援センターの実施する事例検討会や大府市主催の「他職種連携」等新型コロナウイルス感染予防のため中止となり参加できませんでしたが、知多北部広域連合主催の「動画」による研修に参加しました。
- ・週 1 回程度伝達会議（事例検討含む）を行い介護支援専門員の資質向上を図りました。
- ・平成 2 9 年度より開始された「新カリキュラム 愛知県介護支援専門員実務研修」の実習が延期となったため（コロナ感染症予防のため）実習生の受け入れはありませんでした。今後も訪問・面談時は新型コロナウイルス感染予防に努め、ご本人様、お家族様を支援いたします。

## 8) グループホーム

18名

月平均稼働率 96.6% (前年97.0%)

入居者年間延べ 6341名

新規入居者 4名 退去者 4名 (4名特別養護老人ホーム入居)

・令和2年度はコロナウイルスの感染対策による職員就業前検温、アルコール消毒、マスク着用の徹底、1階と2階との交流の制限、外出の制限、食事作りや配膳の制限、ご家族との面会の制限など、いろいろな制限の中での入居者様との関わりや支援を行なってきました。入居者様・職員ともに陽性者を出すことなく過ごせました。

・年間を通してのイベントやレクリエーションも外出の機会が減っています。お花見等の季節を感じて頂く時期はドライブ見学(感染対策のもと)を実施しました。

また、1階・2階の交流の制限、外出飲食の制限の中、できる範囲でのレクリエーションを企画し職員の工夫のもと実施しています。

・面会が制限される中、ご家族へはホームにてテレビ電話面会を実施し、月に平均2～3件の面会を実施しています。

・ホームでのリハビリ体操や散歩を積極的に行いました。残存機能の低下防止や気分転換を目的に毎朝のラジオ体操や廊下歩行運動、階段昇降運動、近所周辺のお散歩を実施しています。

・受診に関しては非常事態宣言の期間はホームの職員が対応しています。宣言解除後は通常通りご家族の対応で実施しています。また感染リスク等の不安がある場合はご家族や職員のみでの受診で対応しました。

・転倒による事故やケガが多くみられました。職員による見守りや対応で防げたケースもあるかと思えます。認知症ケアや事故防止に関するスキルアップの研修や勉強会の参加が出来ていなかった為、今年度は積極的に参加を薦めていきたい。